

都市再生整備計画 フォローアップ報告書

ひらかたしえきしゅうへんちく
枚方市駅周辺地区

令和4年12月

大阪府枚方市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見	
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性		
指標1	賑わい向上による地価上昇	千円/㎡	461	530	527	確定 見込み ○	△	あり なし ●	—	502	R4年1月	△	<input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、目標値を下回ったものの、従前値から増加傾向にある。
指標2	来訪者数の増加による売り上げ増加	百万円/年	310	757	757	確定 見込み ○	○	あり なし —	—	754	R4年3月	△	<input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	目標値は下回ったものの、コロナ禍の中で目標値に近い値を出すことができた。枚方市総合文化芸術センターの開館は令和3年8月30日であったが、本格稼働したのが令和3年10月1日からであったため、記載の確定値は実績値(377)を2倍したものである。
指標3	公共交通利用者数の増加による売り上げ増加	百万円/年	24	83	86	確定 見込み ○	○	あり なし —	—	82	R4年3月	△	<input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	公共交通機関の利用者が新型コロナウイルス感染症の影響により目標値設定時より減少したが、枚方市総合文化芸術センターの来館者数は目標値設定時より増加したため、わずかに目標値を下回ったものの、従前値から増加傾向にある。
指標4	—	—	—	—	—	確定 — 見込み —	—	あり — なし —	—	/	R 年 月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	/
指標5	—	—	—	—	—	確定 — 見込み —	—	あり — なし —	—	/	R 年 月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	/

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見	
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性		
その他の数値指標1	地区内における公立保育所の定員数	人	120	/	159	確定 ○ 見込み	/	/	/	/	R 年 月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	平成29年度に、枚方市立枚方保育所を建て替え供用開始したこと(120人→140人)、枚方市立おおがいと小規模保育施設を開設したことにより(0人→19人)、定員数を増加することができた。
その他の数値指標2	—	—	—	—	—	確定 — 見込み —	—	—	—	/	R 年 月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	/
その他の数値指標3	—	—	—	—	—	確定 — 見込み —	—	—	—	/	R 年 月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	/

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために行う方策	定期的な地域イベントの実施	枚方市総合文化芸術センターの開館に伴い、市民の日ごろの文化芸術活動の発表機会を提供とジャンルを超えた交流や賑わいの創出を目的として、市民総合文化祭を開催した。合唱や吹奏楽をはじめ、人形劇、演劇、クラシック音楽、三曲、舞踊、落語の舞台部門と、絵画・書道・写真の展示部門、短歌・俳句部門の全13ジャンルの発表を行った。	コロナ禍により、舞台部門において座席数が半数制限されている中での開催であったが、6,970人の参加があった。(人形劇については、観客に乳幼児が多数想定されることから、中止となった。)	今後も引き続き毎年定番のイベント(市民総合文化祭)を実施していく中で、軽音やダンス等、実施していないジャンルの検討を行う。
	—			
	—			
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	公共施設の複合化による市民ニーズへの対応	・枚方市駅周辺にある既存の生涯学習施設や行政サービス施設の機能等について、市街地再開発事業で整備される複合施設内に再編し、市民ニーズに対応した機能の更新や拡充を図るため、市街地再開発組合と連携しながら内装実施設計を進めた。	・様々な人々の交流活動の活性化を促進するとともに、再編する各種行政サービス機能や商業機能等との複合化によって利用者数の増加が期待できる。	・令和6年度の供用開始を目指し、市街地再開発事業の進捗を踏まえながら内装工事や保留床の取得を行う。
	交通機能の強化による渋滞緩和	・外周道路整備工事(1工区)に着手し、工事の推進を図った。 ・高架下道路改良事業中であり、改良後はバスルートを変更予定。	・外周道路整備(1工区)と高架下道路改良を行い、駅前ロータリーのバスルートを変更することで、交通渋滞の緩和が期待できる。	・市街地再開発事業で整備される施設建築物と供用時期の連携を図りながら、外周道路(1工区)の整備を進めていく必要がある。 ・高架下道路改良事業中であり改良後の交通状況を注視していく。
	ゆとりある歩行空間の形成による回遊性の向上	・外周道路整備工事(1工区)に着手し、工事の推進を図った。 ・枚方市駅前線において無電柱化事業中であり、令和7年度に電柱の抜柱予定。 ・滞在環境整備事業(まちなかウォークブル推進事業)の事業主体であるUR都市機構や市民団体と連携し、公共空間を活用した社会実験を行った。	・外周道路整備(1工区)、枚方市駅前線の無電柱化を行うことでゆとりある歩行空間の形成による回遊性の向上が期待できる。 ・公共空間の使い方を検証することで、ウォークブルで滞在しやすい空間の在り方や将来整備される公園・広場のイメージを市民団体や来場者と共有することができた。	・市街地再開発事業で整備される施設建築物と供用時期の連携を図りながら、外周道路(1工区)の整備を進めていく必要がある。 ・無電柱化事業中であり歩道整備後の交通状況を注視していく。 ・継続的な取り組みとしていくためのまちづくり担い手の発掘や魅力ある公共空間づくりに向けた検討をしていく必要がある。

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
エリアマネジメントの推進	枚方市駅周辺地域の持続的な魅力向上を目指し、地域住民などによる地域資源や道路空間などの既存ストックを活用した、エリアマネジメントの導入によるまちの価値を高める取り組みを推進する。	R3年度からR7年度(2期計画)	ワークショップや勉強会、社会実験など機運醸成にむけた取り組みを実施し、エリアのルールや仕組みづくり、担い手に対する支援など多くの人が主体的に関わり、取り組める環境づくりを促進する必要がある。